

# 奈良県の経済・産業に対する認識等

(第132回地元企業動向調査付帯調査)

【対象企業：個人事業を含む県内176先】

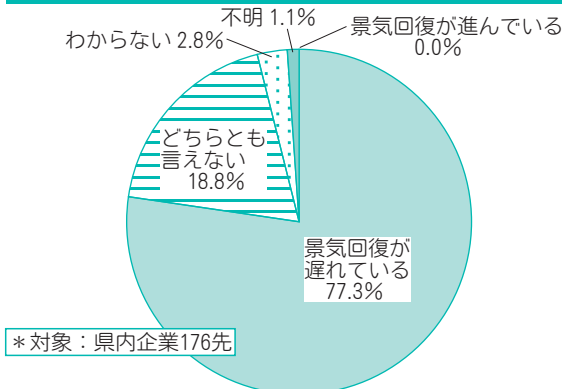
(注) 参考数値として、近隣他府県の企業(25先)による「地元府県の経済・産業に対する認識等」のデータを記載。

## 1. 奈良県の経済・景気の現状に対する認識

奈良県の経済・景気の現状に対する県内企業の認識は、近隣他府県と比較して「景気回復が遅れている」が77.3%と最も多く、「どちらとも言えない(他府県とほぼ同様)」は18.8%となっている。なお、「景気回復が進んでいる」という回答は無い(図1)。

個別業種で「景気回復が遅れている」の割合をみると、「サービス業」(93.8%)、「木材・木製品」(90.9%)で特に多くなっている。

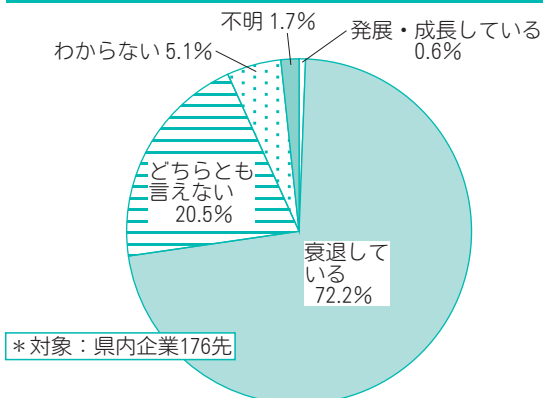
図1 奈良県の経済・景気の現状に対する認識



## 2. 奈良県の産業の現状に対する認識

奈良県の産業の現状に対する県内企業の認識は、近隣他府県と比較して「衰退している」が72.2%

図2 奈良県の産業の現状に対する認識



%と最も多く、「どちらとも言えない(他府県とほぼ同様)」は20.5%となっている。なお、「発展・成長している」は0.6%である(図2)。

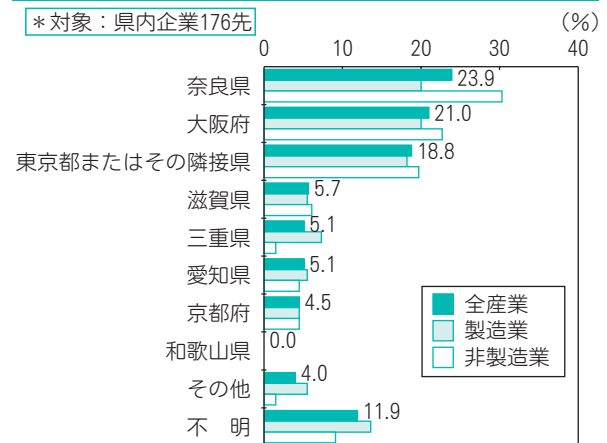
また、回答企業数は少ないが、近隣他府県の企業(25先)の回答状況を見ると、「どちらとも言えない(他府県とほぼ同様)」が56.0%と最も多い。「衰退している」は24.0%と少なく、奈良県のほぼ1/3の割合となっている。

## 3. ゼロから事業を立ち上げるとした場合の候補地

県内企業に対して、ゼロから事業を立ち上げるとした場合、どこで立ち上げたいか聞いた結果、全産業では「奈良県」が23.9%と最も多く、次いで「大阪府」21.0%、「東京都またはその隣接県」18.8%と続いている(図3)。

製造業では「奈良県」と「大阪府」が20.0%と同率で1位となっている。非製造業では「奈良県」が30.3%と最も多く、次いで「大阪府」22.7%、「東京都またはその隣接県」19.7%と続いている。

図3 ゼロから事業を立ち上げるとした場合の候補地



## 4. 地元府県に対するプラスイメージ(複数回答)

県内企業が奈良県に対して抱いているプラスイメージ(良い印象)は、「歴史のある」が73.9%と最も多く、次いで「落ち着いた」43.8%、「美しい」27.3%、「親しみのある」26.4%と続く(図4)。

一方、近隣他府県の回答状況と比較して特に少ない項目は、「便利な」13.6%(近隣他府県32.0

%)、「活気のある」5.7% (同 24.0%)、「開放的な」4.0% (同 20.0%)、「変化のある」1.7% (同 16.0%)、「先進的な」1.1% (同 16.0%) となっている。

なお、「プラスイメージを持っていない」は13.1%と、近隣他府県(4.0%)と比較して多い。

## 5. 地元府県に対するマイナスイメージ(複数回答)

県内企業が奈良県に対して抱いているマイナスイメージ(悪い印象)は、「活気がない」が60.2%と最も多く、次いで「保守的な」57.4%、「閉鎖的な」55.1%、「遅れている」42.6%、「変化を嫌う」31.3%、「不便な」21.6%、「古くさい」13.1%、「さびれた」12.5%と続いている(図5)。

## 6. 奈良県の活力向上のために県や市町村が積極的に取り組むべき分野(複数回答)

県内企業に対して、奈良県の活力を高めるために県や市町村が積極的に取り組むべきと思う分野を聞いたところ、全産業では「製造業の活性化」が40.3%と最も多く、次いで「企業・産業の新規立地」38.1%、「観光産業の活性化」27.3%、「高速道路の整備」25.6%、「地域再生を担う人材の育成」25.6%と続いている(図6)。

業種別にみると、製造業では、「製造業の活性化」が53.6%と最も多く、次いで「企業・産業の新規立地」33.6%、「地域再生を担う人材の育成」28.2%と続いている。

また、非製造業では、「企業・産業の新規立地」が45.5%と最も多く、次いで「観光産業の活性化」36.4%、「商店街の活性化」33.3%と続いている。

## 7. 総括

約3/4の県内企業が、「景気回復の遅れ」や「産業の衰退」を懸念しており、ゼロから事業を立ち上げるとした場合の候補地として県外をあげている(不明を含む)。「製造業の活性化」や「企業・産業の新規立地」など、事業活動地としての奈良県の魅力度を高める対策の強化が求められる。

(島田 清彦)

図4 地元府県に対するプラスイメージ【奈良県の上位10項目】

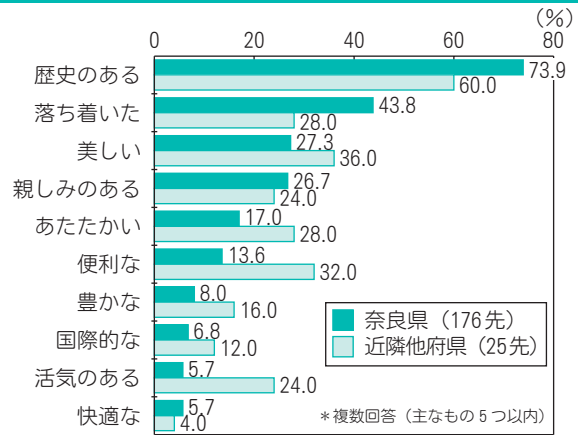
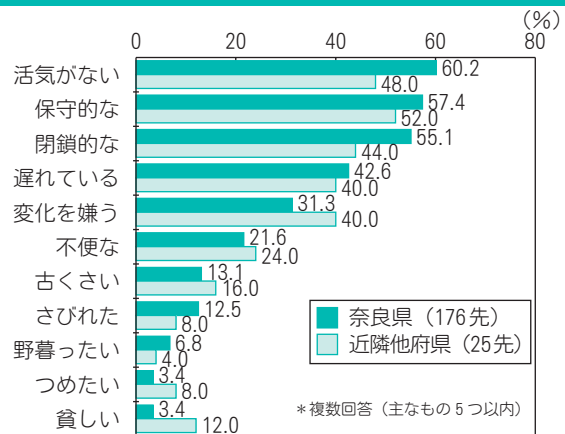


図5 地元府県に対するマイナスイメージ【奈良県の上位10項目】



\*第10位は2項目が同じ構成比のため、計11項目を記載している。

図6 奈良県の活力向上のために行政が積極的に取り組むべき分野【全産業の上位10項目】

